

外部評価意見への対応方針

【様式4】

番号	年月	外部評価意見	対応方針	分類
1	H29.9	<p>【東住吉区ゆめ応援プロジェクトの充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校・中学校・高校生各プロジェクトがあるが、地域と連携が足りていない。 ・企業交流については高校生ではなく、もう少し対象を前倒しするなどを検討し、たとえば高校生には違うイベントを考えてみてはどうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年11月～実施の小学生対象のイングリッシュスタディツアーにおいて地域資源(商店街・大学等)と連携したコンテンツで実施し英語力とともに地域力を高める機会を提供して。 ・高校生企業交流の実績を活かし各中学校で実施されている職業体験に企業の紹介を行う。また高校生を対象にの区役所と高校生のネットワークの構築を検討する。 <p>【具体的取組1-1-1】【具体的取組1-1-2】</p>	
2	H29.9	<p>【子育て・教育支援の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の親子サロン等の支援者のスキルアップに向けて機能拡充をしてはどうか？ ・評価が高いものの子育て応援情報誌もっと充実させてほしい。もっと赤ちゃんの写真や家族の写真を多く載せてはどうか。 ・例えば子育てOHえんフェスのミニフェスタ版のような地域別のミニフェスタをやってはどうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・区内の子育て支援に関する機関や活動者が互いに連携し、情報を交換、共有するための子育て支援連絡会においてそのメンバーを対象に、支援者のスキルアップに向けた研修をより充実していく。 ・子育てOHえん情報誌及び区広報紙「なでしこ」の内容の充実と、配布先および配布部数の拡大をすすめており、今後も配布先機関等を開拓していく。 ・子育て支援連絡会を構成する区内各地域の諸機関が、年間の日常活動に加えて、随時季節のイベント等を地域横断的な親子の参加を得て開催しており、今後も開催情報等について積極的に発信していく。 <p>【具体的取組1-1-1】【具体的取組1-1-2】【具体的取組1-1-1】</p>	
3	H29.9	<p>【子育て層が創るまちづくり活動への支援】(子育て層に対する広聴・広報活動をどのようにアプローチするのか。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区の持つ資源の横断的連携運用で子育て層の総合満足度アップへ。 ・子育て層の満足度のチェックをすべきではないか。 ・SNSを含め情報を総合的にクロスメディアを駆使して届けられないか。 ・広報紙を冊子みたいな形にしてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの居場所にかかるネットワークを構築し、既存の機能(区役所・地域・学校など)の連携を図っていく。 ・子育て層向けのアンケートを実施し、事業の周知や満足度のチェック、ニーズの把握に努める。 ・区広報紙やホームページと、区の公式SNS(LINE、facebook、instagramなど)を連携させ、相互の情報をクロスメディア手法により効果的に発信(各媒体から相互に情報を利用することが可能)していく。 ・増ページによる発行など、充実の方法を検証し拡充を図る。 <p>【具体的取組1-2-1】【具体的取組1-3-2】【具体的取組1-3-1】</p>	
4	H29.9	<p>【東住吉つながりプログラムの充実】 (地域活動に参加する区民をふやすには。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信の重要性にもっと注力。現状の取組がうまく活用されているのか？ ・写真情報提供アプリやSNS等の新しい取組みも必要では？活動につき付与されるポイント制度など何か斬新な方法も一度考えてみたらどうだろうか。 ・参加を促すには回覧板による情報提供を充実させてはどうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 区民が身近な地域でのつながりに関して肯定的に感じてもらえるよう、広報紙やホームページ等での情報発信により地域活動に関する意識を向上させる取組を行っていく。 <p>【めざす成果及び戦略3-1】</p>	
5	H29.9	<p>【自主的な地域社会の支援】(地域福祉における区民相互の助け合いへの支援が必要。その中で、「とんずみサポート」の協力会員の活動実績をふやすには。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっとわかりやすい具体的な活用事例を掲載してはどうか。利用者や登録者の促進を喚起するようなチラシの工夫が必要ではないか？ ・学生等を組み入れて、サポーターとして登録することを検討してはどうか？またはNPO等の外部組織を活用してはどうか？ ・利用実績、登録者数、それから依頼者件数についての分析が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な活用事例を記事の中に盛り込み、区広報紙11月号に掲載するとともに、今年度作成するチラシでは、より協力者の登録を促進するよう工夫してまいりたい。 ・協力会員の登録は概ね高校生以上としており、学生を活動の輪の中に加えることは従前より企図していることから、今後は区内の大学にも協力会員登録を働きかけてまいりたい。 ・利用実績や会員登録の動向について毎月の集計をふまえニーズの高い活動内容に対する研修の実施や、会員募集等に反映してまいりたい。 <p>【具体的取組3-1-4】</p>	

6	H29.9	<p>【自立的な地域社会の支援】(地域にあった福祉の仕組みづくり。地域のニーズを引き出す方法について。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カルテに対して、委員のメンバーからは、アンケート集や集計資料としてのイメージしか感じない ・カルテ自身が他地区のことは見れないという制限もありもっと活用できるカルテにしたほうがいい。 	<p>「東住吉区地域福祉計画」において「カルテ」は地域の特長や違いを住民や関係者で共有していただくための資料集として位置づけられており、内容に親しんで頂き、地域の状況に応じた福祉活動の推進に活用していただけるよう、「説明会」を14地域ごとに実施していく。</p>	
7	H29.9	<p>【地域における情報共有の促進】(地域活動協議会等による地域の自主的・継続的なまちづくり活動に対して、どのような支援が必要か。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地活協同士の交流を行い横のつながりが必要ではないか。 ・行事が恒常化していると感じる方がいるまたは担い手がいなくて固定化されてるのではないか。もっとオープンで共感が広がるような方向性に向けて再検討してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動協議会などの活動の活性化や情報共有に向け、地域の代表が集まる地域連絡会議などあらゆる機会を捉え、活動の理解促進等を図る。また各地域への訪問等によりそれぞれの地域の実情を把握した上できめ細やかな支援を実施する。 <p>【具体的取組3-2-1】</p>	

分類

当年度(29年度)において対応 30年度運営方針に反映または30年度に対応予定
30年度では対応できないが、今後引き続き検討 対応困難または対応不可
その他